



## 緩和ケアについて



病棟看護師 石川 亜紀

皆様はホスピスマインドという言葉を知っていますか？

ホスピスマインドとは「おもてなしの心」のことです。

緩和ケアは痛みや、その他の身体的な苦痛を和らげるだけのケアではありません。

おもてなしの心を持って緩和ケアを受ける方に対応するものです。

では、緩和ケアを受ける対象とはどのような人でしょうか？

がんが診断された人でしょうか…？ 余命が残り少ない人でしょうか…？

答えは、疾患を問わず全ての患者様とご家族を対象としています。

それでは、緩和ケアが提供される場所はどこでしょうか？

大学病院でしょうか？ 総合病院でしょうか？

答えは、全ての医療機関で提供されるものです。

また、患者様とご家族に関わる者全てが緩和ケアを提供することができます。

患者様とご家族に関わる者が「おもてなしの心」を持ち、

自分の得意分野を活かしながら患者様とご家族に接することが、緩和ケアの原点です。

### 緩和ケアとは・・・

『いつでも』『どこでも』『誰にでも』提供されるものである。

昨年の流行語大賞に「お・も・て・な・し」とありましたが、おもてなしとは流行り廃り関係なく、相手との関係をより良くするためのものだと考えています。

病棟でも「おもてなしの心」を大切に、スタッフそれぞれが自分の得意分野を活かしながら、患者様とご家族に接するよう心がけています。

些細なことでも遠慮なく、お気軽にご相談ください。



# CTで診る大腸の新しい検査法

診療放射線技師 巨理健太

みなさんはCTコログラフィ(CT Colonography、以下CTC)という検査をご存知でしょうか。CTCとは、CTで大腸の検査をする新しい検査法です。欧米では広く普及していますし、日本においてもCTCを行う施設が増えてきました。当院でも昨年からはCTCを開始しましたので、こういった検査なのか簡単にご紹介させていただきたいと思っております。

まず検査方法ですが、直腸に専用のカテーテルを挿入し、炭酸ガスを注入、大腸を拡張させます。その状態でCT撮影を行い検査は終了です。撮影したデータをコンピュータで処理し、大腸専用の画像を作成します。

今までの大腸検査といえば、X線を使った注腸X線検査と、大腸内視鏡検査がありますが、なぜCTC検査が行われるのか、CTCと内視鏡検査、注腸X線検査を比較してみましょう。

CTCは他の大腸検査と比べて検査時間が短く、検査自体は約20分で終了します。また、内視鏡のように痛みが出ることも少なく、注腸X線検査のように頻りに態勢変えることもありません。他の大腸検査と同様に大腸内を空気で満たすため、腹部の張りがありますが、空気より130倍速く吸収される炭酸ガスを使用することで患者様の負担を減らすことができます。さらに、通常のCT画像に加え、画像処理によってあたかも内視鏡で大腸内を観察するような仮想内視鏡画像、注腸X線検査のような仮想注腸画像など、大腸検査に特化した画像を作成できます。

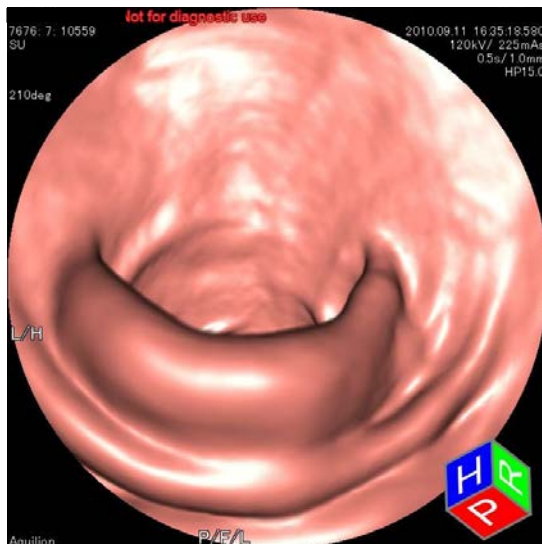
以下にCTCの長所と短所、作成される画像をまとめました。

## 【CTCの長所】

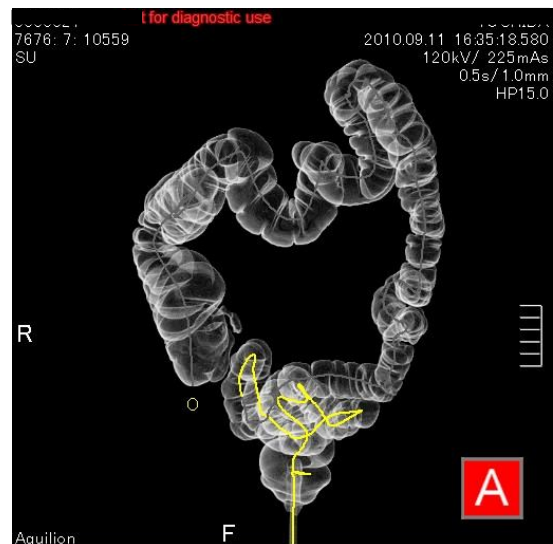
- ・検査時間が短い(約20分)
- ・大腸内視鏡や注腸X線検査に比べ、苦痛が少ない
- ・大腸内視鏡が挿入困難な患者様でも検査が可能
- ・大腸穿孔や出血などの偶発症が極めて稀
- ・病変の位置をより正確に表示できる
- ・大腸以外の臓器も観察できる

## 【CTCの短所】

- ・病変の色を観察できない
- ・組織の採取ができないので、病変が見つかった場合は内視鏡検査が必要
- ・他の大腸検査と同様、前処置が不十分だと正確な検査ができない
- ・X線被ばくがある



仮想内視鏡画像



仮想注腸画像

# 花粉症とは？

医事課 榎本綾香

原因となる植物の花粉が飛ぶ季節にだけあるアレルギー症状で、季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。花粉初患者の約7割を占めているのがスギ花粉です。

他にもヒノキ、ケヤキ等の樹木、カモガヤ、フタクサ、ヨモギ等の草花の花粉も花粉症の原因となります。

## ◆流行時期

花粉症の原因となるスギ花粉の飛散は1月～5月の初旬まで続くとされています。

## ◆症状

花粉が人の目や鼻の粘膜に付着することで、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目や喉の痒みを引き起こします。風邪とよく似た症状ですが、決定的に違うのは花粉症だと連続したくしゃみ、鼻水が水のような無色でさらりとして鼻から流れ出る、風邪症状のように発熱や咽頭痛はないということです。

しかし花粉の飛散量が多くなれば症状も重くなり、食欲減退、倦怠感、頭が重く感じる、下痢などの胃腸症状が現れたいるので早めの対処が必要です。

## ◆予防

### ・室内に花粉が入るのを防ぐ

→衣類や紙に付着した花粉を玄関先ではたき落とす、花粉が付着しやすい素材(セーター等)の衣服の着用は避ける。

### ・室内での花粉の飛散を防ぐ

→一度室内に入り込んでしまった花粉は外へ出すのは困難です。方法として加湿器を使用し、室内の湿度を上げると湿気を含み重くなった花粉が落下します。そうすることで花粉の浮遊を防ぐことができ、落下した後の花粉は掃除機で処理すると室内の花粉を効果的に減らせます。

### ・体内に花粉を蓄積させない

→外出時にマスクや花粉用眼鏡、帽子を着用すると体内に入る花粉を効果的に防ぐことができます。花粉症用の専用の眼鏡やマスクの使用が良いとされていますが、通常のマスクでも水で濡らしたガーゼを中に挟むことにより90%以上の花粉をカットできます。普段使用している眼鏡でも、目に入る花粉量は3分の1程防ぐことが可能です。

☆当院では花粉症の薬の処方や予防として注射での治療もおこなっております。最近では花粉症の市販薬も出されていますが、体質に合わず副作用が出ることもありますので医師にご相談ください。



## 医事課／受付について

私達医事課職員は、来院された患者様に対して症状を確認したり、カルテを作成し情報を入力したのち医師等に伝達したりします。顔色や具合が悪い等、受付の時点でいち早く察知し院内トリアージ(症状の緊急性が高いものに応じて診療の優先順位付け)して発熱、出血、下痢嘔吐等感染の恐れや緊急性の高い症状の患者様をなるべく待たせず優先的に診察に入れるようにしております。

また従来の紙カルテではなく、電子カルテ(コンピューター上に患者様の個人情報、医療情報等を電子データとして管理し保管されたもの)を導入することで待ち時間や受付入力から会計処理までの時間短縮を図っております。

当院では来院された患者様には、診療を受けていただくにあたり診察までの流れやご連絡等をご案内しております。

先日初めて受診を希望される患者様から、どのように手続きしたら良いか、直接来院して良いのか等、電話でお問い合わせをいただくことがありました。

ここで簡単にですが当院の初診の流れをご紹介します。

### ○初めて受診される患者様へ○

- ・当院は予約制ではございませんので、標榜診療時間内に直接ご来院ください
- ・玄関正面向かいの記帳台にて問診票をご記入ください
- ・健康保険証、公費負担受給者証、他院紹介状等お持ちの際はご提出ください
- ・受付窓口にて患者様情報を登録したのち、受診票をお配りします
- ・各診療科受診終了しましたら、会計窓口まで受診票をご提出ください
- ・会計計算終了後、会計窓口より順番にお呼びします
- ・領収書、明細書、処方箋をお渡しします

受付窓口は患者様が一番初めに接する場所でもあります。

待ち時間を少なく済ませ、効率的で的確な診療を受けて頂くことはもちろん大事なことです。それだけでなく病气への不安や病院を取り巻く医療制度・保険・法律などの疑問を解消し、他ご質問やご相談等、気軽にお声掛けいただきお応えできるよう心掛けてまいります。

患者様の期待を超える接遇を目指し、信頼と安心をお届けできるように医事課一同これからも努力してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

